

服用に際しては、この説明文書を必ずお読みください
また、必要時に読めるよう大切に保管しておいてください

第2類医薬品

漢方製剤

葛根湯

葛根湯エキス顆粒「創至聖」

葛根湯エキス顆粒「創至聖」は、漢方薬の代表的処方「葛根湯」を飲みやすくしたエキス顆粒剤です。かぜのひき初め、頭痛、鼻かぜ、寒気がしてぞくぞくするときに服用していただくと効果があり、眠くなることもありません。また、肩こり、筋肉痛、パソコンやワープロなどの疲労からくる手や肩の痛みを和らげます。



使用上の注意

相談すること



1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
偽アルドステロン症 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
* 多 形 紅 斑	皮膚が広い範囲で赤くなる。水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる。高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。

3. 1ヵ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

裏面の効能・効果、用法・用量、保管及び取扱い上の注意も必ずお読みください。

【効能・効果】

体力中等度以上のものの次の諸症：
感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

【用法・用量】

下記の量を食前または食間に熱湯に溶かして温服する。またはそのまま、水かお湯にて服用する。

年 齢	1 回 量	服用回数
成人（15才以上）	1 包	1 日 3 回
7 才以上15才未満	2/3 包	
7 才未満	服用しないこと	

食間とは食事と食事の間で、前の食事から2～3時間後

<用法・用量に関連する注意>

- 1. 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 2. 用法・用量を厳守すること。
- 3. 溶かして服用するときは、熱湯を加えスプーンなどでかき混ぜて溶かし、早めに服用すること。服用した後に、溶け残りがある場合には、熱湯を加えてかき混ぜて溶かし、残らず服用すること。

【成分・分量】

1 日量 3 包（1 包3.0 g）中

葛根湯エキス 4.25 g		
（カッコン..... 4 g マオウ..... 3 g ショウキョウ..... 1 g	）	
タイソウ..... 3 g ケイヒ..... 2 g シャクヤク..... 2 g		
カンゾウ..... 2 g より製した乾燥エキス		

添加物：D-マンニトール、乳糖、果糖、ショ糖脂肪酸エステルを含有

【保管及び取扱い上の注意】

- 1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 2. 小児の手の届かない所に保管すること。
- 3. 他の容器に入れ替えないこと。
（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- 4. 1 包を分割して服用した残りは、袋の口を 2 回折り返して保管し、
2 日以内に服用すること。



製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記までお願いします。

北日本製薬株式会社 〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉55
電話番号076-472-1011 受付時間9：00～16：30（土、日、祝日を除く）